

雇用・能力開発

雇用・能力開発機構 [EHDO]

Employment and

Human Resources Development

Organization of Japan



理事長新春挨拶

●今月のトピック

若年者向けキャリア形成支援プログラム
人材高度化研究会報告



January 2004



EHDOによるパレスチナ難民支援

その成果と展望

国連パレスチナ難民救済機関(UNRWA)教育局 久米篤憲
JICA職業訓練教育管理専門家

はじめに

紛争のニュースが絶えない中東地域の中でも、イスラエルとパレスチナは50年以上にわたって紛争を続けています。その結果多くのパレスチナ難民が発生したのです。

UNRWA(国連パレスチナ難民救済機構:通称アンルワ)は、そのパレスチナ難民への支援を目的に設立された国連の機関です。

そのUNRWAの事業と、当機構の支援実績について報告します。

UNRWAの概況

設立経緯

1948年のイスラエル建国とともに第1次中東戦争が勃発し、イスラエルによって追放されたパレスチナ人約75万人が難民としてヨルダン、シリア、レバノン等に流出し、領土に留まった人々はヨルダン川西岸及びガザ地区に居住しています。

UNRWAは、これら難民の救済を目的として、1949年の国連総会決議(302-IV)により設立、翌1950年から活動を開始しています。更に、1967年の第三次中東戦争勃発に際し、イスラエルに占領された西岸等から約35万人のパレスチナ人が流出、新たな難民が発生したことにより、UNRWAの救済事業は拡大しました。

また、近年イスラエルとの和平交渉が泥沼化の一途を辿り、UNRWAの存在は重要度を増す一方です。

活動内容

UNRWAは前記した3カ国に地域に居住す

るパレスチナ難民を対象に、教育、医療・保健、福祉活動を支援しています。

(1) 教育

約640校の小・中学校及び8校の職業訓練校を運営。

(2) 医療・保健

診療所、母子保健センターを運営。

保健・衛生の他、家族計画の指導・実施及び衛生環境向上の活動を実施。

(3) 救済・福祉

老人、寡婦、身体障害者等貧困下に置かれているパレスチナ難民に対し、食料及び住居を提供。

これらの事業に携わる職員として約22,000人のパレスチナ難民を雇用しているのも特徴で、その他UNESCOなどから100名ほどの国際職員が派遣され勤務しています。

独立行政法人国際協力機構(JICA)によるUNRWA支援

JICAによるUNRWA支援の実績は、これまで職業訓練分野がそのほとんどを占めています。1986年の建設機械から始まり、当機構の自動車整備、電子、木工の訓練職種の長期専門家を計11名、ヨルダンとシリアのUNRWA傘下の訓練センターに派遣してきました。

その結果、訓練センターでは良質な訓練内容の提供や、設備、機材供与などの訓練環境改善がなされ、大きな成果として残り、現在も有効に活用されています。

特に、UNRWA傘下の8訓練センターから、この17年間に、200名を超える職業訓練指導員をJICA研修員として日本に送り出し、その多くを、当機構が海外研修員として受け入れてきた実績は、現在派遣中の専門家として



▲やすり作業

自慢できる大きな成果です。

この研修員受入事業は現在も継続中で、今年度末には、ポリテクセンター千葉において、溶接技術コースと機械加工コースに計12名の職業訓練指導員を受け入れる予定です。

私の活動

UNRWAへのJICA専門家派遣は、私で12代目になります。

これまでの専門家は、シリアのダマスカス訓練センターとヨルダンのワディシール訓練センターに派遣されてきましたが、今回は日本の訓練システムや手法を導入することを目的として、ヨルダンにある教育局本部の職業技術教育訓練部への派遣となりました。

具体的な活動は、日本の職業訓練指導技法をTMC(Training Management Cycle)として体系化させ、導入、普及の活動を展開しています。

その具体的な取組は、職業訓練スペシャリストと呼ばれる本部職員にTMCの内容を技術移転し、その成果を8訓練センターの副校長や訓練課長及び指導員を対象とした「TMCセミナー」で普及させるものです。

TMCセミナーの内容は、主に次の5段階で構成されます。

(1) 訓練ニーズの把握

職業訓練コースの開発や改善のために、

- ①国の政策 ②地域産業 ③企業や団体等
- ④在職者や求職者 などニーズ動向の調査法

(2) 訓練プログラムの開発

訓練ニーズを満たす職業訓練コース開発手法

(3) カリキュラムと教材作成

- ①基本的なカリキュラム開発概論と職務分析手法 ②教材開発の概要

(4) 訓練の実施

- ①講義法 ②実技指導の進め方(作業指導票や指導案の作成)

(5) 訓練評価

職業訓練コース実施の評価

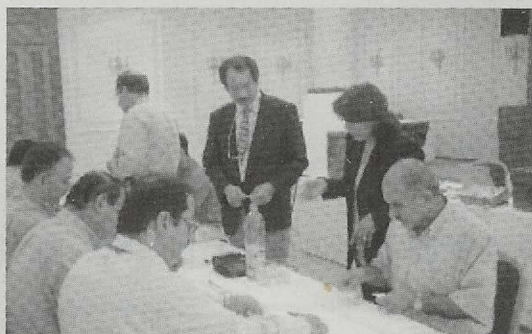
これまでに、毎年1回のセミナー実施を通してスペシャリストへの技術移転を実施し、TMCのコンセプトや概要を紹介するビデオ教材をアラビア語と英語で製作しました。

本来ならばセミナーの回数を増やして、一人でも多くの訓練指導員に対するTMC普及活動を展開したいのですが、3カ国2地域からヨルダンに召集して実施するセミナーは慢性的な運営資金不足に悩むUNRWAには大きな負担であり、これまでに2回しか実施できていないのが残念です。

さいごに

2001年9月11日のニューヨーク同時多発テロ、過激化するパレスチナ情勢、隣国のイラク戦争など、私がヨルダンに派遣されている間にも歴史的な出来事が続きました。

今後もこの中東地域から目が離せませんが、パレスチナ難民子女の就職機会拡大に大きな役割を果たしてきた当機構の更なる支援継続、そして中東平和を希望してやみません。



▲ワークショップ中

ヨルダンでの日常生活を文と写真でホームページに紹介しています。

訪問をお待ちしています。

⇒<http://www.keme.eyeme.cc/>